

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 8 月 2 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課 杉浦 康史	
都整-24	雨水施設維持管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	下水道河川課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(6) 下水道・河川	施策の方針	5-(6)-②河川の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。
効果	雨水調整池について、良好な状態を保持する。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

雨水調整池の良好な状態を保持するため、雨水調整池浚渫業務委託等13件を実施した。令和4年度には河川の溢水を監視するための河川等監視カメラを3箇所設置したことから、令和5年度は総計5台のデータ閲覧が可能となった。(今後は準用河川等にカメラを設置する予定はない。)

事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	雨水施設維持管理事業	維持修繕、浚渫等	浚渫等実施件数	13 / 10	30100 / 33458	12 39,403	130.0%
02	河川監視カメラ設置事業	河川監視カメラ設置	カメラ設置箇所数	0 / 0	5160 / 5160	0 0	100.0%
03	河川監視カメラ設置事業	監視システム改善点の検証	検証した改善点の個数	/	/	2 5,160	
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	/	/	13	
			一般財源	35263 / 38618	38618	44,550	
			事業費の合計(千円)		35,263 / 38,618	38,618	44,563
			人件費(千円)			9,036	9,433

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.3	1.0	1.0	1.0	1.0	
会計年度任用職員	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	雨水施設維持管理事業	想定外の業務(早急に修復しなければならない業務費が多費になる業務)が無かったことで、通常業務に費やす時間、経費が充てられたことから目標を達成することが出来た。	浚渫や除草を実施することで、浸水対策の推進することに寄与する。	調整池は全25箇所(ポンプ排除式を除く)にあり、随時、土砂の堆積状況を把握し、定期的に浚渫を行っていく必要がある。
02	河川監視カメラ設置事業	令和5年度はカメラの設置は無いことで、事業費はカメラの使用料を計上したが、目標(カメラの設置個数)とは相違していることで、令和6年度において別途、同事業に係る新たな目標設定をするものとする。	河川の水位を監視することで、市民等の避難情報に活用することが可能となるので、市民の安全・安心を確保することに寄与する。	目標としていた総計台数(5台)は令和4年度に達成されたことで、当該事業を評価の対象とすることから削除したい。
03	河川監視カメラ設置事業	上記の理由で令和6年度に新たな目標設定(改善点の案数)をするものとする。	河川の水位を監視することで、市民等の避難情報に活用することが可能となるので、市民の安全・安心を確保することに寄与する。	現状の監視カメラに係る契約終了が令和7年度であることから、それまでに現状システムの不備等を検証し、その結果(改善案)が反映されたもので契約更新をするものとする。

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はあるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
調整池の浚渫等、維持管理を引き続き行っていく。 河川監視カメラのニーズが増えるようにシステムの改善を検討する。	

### 【参考】

#### ◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	浚渫等実施件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
浸水被害の軽減するため、浚渫、除草、枝払いを定期的に行う必要があることから、浚渫等の実施件数を指標とした。	目標値	2	3	10	10	12		
	実績値	2	3	7	13			
	達成率	66.7%	100.0%	70.0%	130.0%			

指標(単位)	カメラ設置箇所数						単位	箇所
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可能になり、市民等の安全が守れることから、カメラの設置箇所数を指標とした。	目標値	1.0	1.0	3.0	0.0	0.0		
	実績値	1.0	1.0	3.0	0.0			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				

指標(単位)	改善点の案数						単位	案数
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可能になったが、今後の契約更新時、使用の向上化を求めため、現状監視システムの改善点の案数を指標とした。	目標値					2.0		
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--